

答 辞

暖かい陽の光が降り注ぎ、春の訪れを感じる令和六年三月のこの良き日、私たち専門科280名は、卒業式を迎えることができました。本日は、私たちのためにこのような盛大な卒業式を挙げてくださりありがとうございます。この卒業式に向けて準備を進めてくださった、佐久間勝彦校長先生をはじめ、諸先生方、職員の皆様、ご多忙中の中ご臨席頂きました来賓の皆様、保護者の皆様に卒業生一同心より御礼申し上げます。

私たちは三年前に、それぞれの志を胸に、ここ千葉経済大学附属高等学校へ入学しました。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、不安に包まれながらも、私たちの学校生活は始まりました。今、卒業式に臨み数々の思い出がよみがえってきます。

三年前の春、新たな友人とともに緊張の中で迎えた入学式。これから始まる高校生活に期待と不安を胸に臨みました。また、校外レクや陸上競技会、文化祭など様々な行事もありました。二年生の秋には多くの級友が楽しみにしていた修学旅行。コロナの影響で、行き先は福島、宮城への二泊三日に変更となりましたが、修学旅行に行くことができ、高校生活の大切な思い出となりました。コロナの影響が続く中、多くの先生方のおかげでこれらの学校行事を全て開催することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

専門科の商業科や情報処理科の学びはとても興味深いものでした。商業科では、簿記やマーケティング、商品開発などを学びました。特に課題研究では、模擬株式会社を設立して、商品の企画や開発、販売を実践的に学び、開発した商品を文化祭などで販売しました。それぞれの学科での学習では、社会で生きていく上での専門的な知識や技術を実践的に学び、身につけることができました。

私が高校生活で一番頑張ったことは、商業科、情報処理科の特徴である資格取得です。全商検定の一級取得に向けて頑張れたのは、三年間担任だった先生の支えがあったからです。たくさん相談にのっていただき、一番近くで見守ってくださりました。また、本校入学以来、クラスも部活動もともに過ごしてきた友人がいたからこそここまで頑張ることができました。ときには共に競い合い、また、協力し支え合いながら三年間共に頑張ってきました。検定合格に向けての勉強はとても大変でしたが、一緒に資格取得を目指した友人やクラスの仲間がいたこと、また、お忙しい中お時間を作ってください、放課後や休み期間中の補習を数多く設けてくださった先生方のあたたかいご指導、何よりも応援してくれた家族の支えのおかげで多くの資格を取得することができ、とても感謝しております。検定試験の勉強では専門的な知識だけでなく、諦めずに努力することの大切さも学びました。目標を定め、それに向かって努力することで得た知識や経験は自分の自信にもつながりました。また、これからのように生き、今後迎える様々な困難に対して、それらをいかに乗り越えて行くのかを教えてくださいました。検定取得の勉強はただ単に資格取得にとどまらず、人を大きく成長させるものであると改めて学びました。

部活動では、幼い頃から珠算を習っていたため、高校生なっても珠算部に入部して、全国大会に出場し、入賞することが私の目標でした。また、私が小学校六年生の時、いところが出場した全国大会で私たちの顧問の先生にお会いしました。その時に珠算部で待っているねと声をかけてくださったのが本校に入学し、珠算部に入ろうと思ったきっかけでした。入部してからは、仲間と共に全員で全国大会出場を目標に掲げ、日々練習に励みました。顧問の先

生をはじめ、先輩方や、関係する方々のご支援のおかげで団体、個人ともに目標であった全国大会に出場し個人で入賞することができました。

本日、私たちは千葉経済大学附属高等学校から巣立ち、それぞれの道へ進みます。胸の内には、高校に入学したときと同じ不安もあります。しかし、三年間で得た学びや経験は、卒業後私たちが迎える様々な困難を乗り越える大きな糧になっていると信じています。これからは、それぞれが選んだ道を自信と信念を持って、輝かしい未来へと羽ばたいていきます。

最後になりましたが、私たちが高校三年間を無事に送ることができ、今日という日を迎えることができたのも最後まで支えてくれた先生方や家族のおかげです。今まで私たちを支えてくださりありがとうございました。そして、これからも私たちをあたたく見守り、ご指導よろしく申し上げます。

千葉経済大学附属高等学校のさらなる発展と皆様のご健勝をお祈りし、答辞といたします。
本日はありがとうございました。

令和六年三月二日 専門科卒業生代表